

あめ 雨について 雨と川

やま ふ
山で降った
あめ
雨は
かわ なが
川に流れる。

じょうりゅう ふ
上流に降った
あめ
雨は
か りゅう なが
下流に流れる。

かわ なが みず
川に流れる水は
いろ いろ ところ あつ
色々な所から集まり、
おお なが
大きな流れになる。



あめ 雨について し ほう ほう 知る方法



レーダーや雨の量を
はかっている観測所の
データを見ることができます。
かわ よう す
川の様子をカメラで
み
見ることができます。



あめ 雨について 雨量 雨って何？



空からふってくる、雨の量の事です。
雨がどれだけ降ってきたかを
「降水量」で表します。



テレビやラジオの天気予報では、
雨の降る量（降水量）のことを、長さを表す単位の
「mm（ミリメートル）」で表します。

たとえば **「今日は、時間30ミリの強い雨が
ふりました」と**言います。



1時間に10～20ミリの雨のとき、
天気予報では、

「やや強い雨」と言います。

★このときのイメージは、ザーザーと降る感じです。

長時間
降ったら注意が
必要です。



降水量の
違いによる
表現

1時間に30～50ミリの雨のとき、
天気予報では、

「激しい雨」と言います。

★このときのイメージは、バケツをひっくり返したような感じです。

大きな災害の
可能性があるので
危険場所を避け、
避難の準備！



1時間に50～80ミリの雨のとき、
天気予報では、

「非常に激しい雨」と言います。

★このときのイメージは、ゴーゴーと降り続ける感じです。

大きな
災害が
起きる



1時間に80ミリ以上の雨のとき、
天気予報では、

「猛烈な雨」と言います。

★このときのイメージは、滝のように雨が降る感じです。

大きな
災害が
起きる

※降水量は、雨量計という、
中に直径20センチのじょうごが
入った筒を使って測ります。



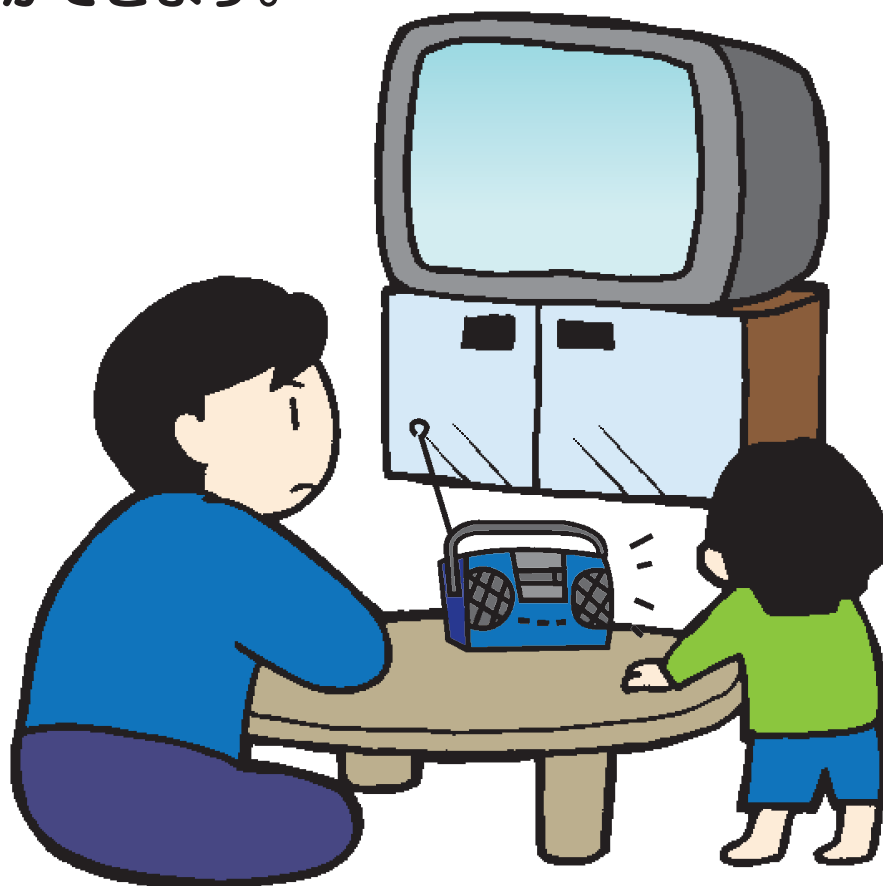
じ ぶん み じ ぶん まも 自分の身は自分で守る

じょう ほう どこから情報をあつめる？

テレビ・ラジオからいろいろな情報じょう ほうを集めることができます。

テレビでで出ている情報じょう ほうからは避難ひ なんするタイミングがわかります。しっかりとテレビの情報じょう ほうを見みておきましょう。

ほかほかにも、防災無線ぼうさいむせんでも情報じょう ほうを集めることができます。





自分の身は自分で守る

どんな情報がある？

大雨や台風のときに、安全に避難するためには、
いったいどんな情報に気をつけていたらいいのでしょうか？

これからの
天気を知る！

・気象



これから天気が良くなるのか、
もっと悪くなるのか、
できるだけ早く確認しましょう。

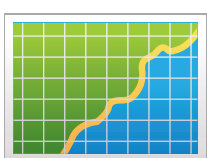
川の様子を
知る！

・雨量

今、雨がどれくらい降っているのか
確認しましょう。

・水位

今、近くの川の水位がどれくらい
高さになっているのか
確認しましょう。



・気象警報

大雨警報や洪水警報など、
気象庁が発表する
警報に注意しましょう。

避難の
判断をする！

・注意報



大雨注意報や洪水注意報など、
災害の恐れがあるときに気象庁が
発表する注意報に注意しましょう。



・サイレン

川がはん濫する恐れがあるときなどに、
サイレンが鳴ります。

（ 災害や防災に関する情報に注意して、
早めに避難することを心がけましょう。 ）



自分の身は自分で守る

いつ避難をすればいい？

テレビで、



「はん濫注意情報」

とは、避難の準備を始める合図です。

「はん濫注意情報」とは、避難の準備を始める合図です。お年寄りや小さな子供は、避難するのに時間がかかるので、「はん濫注意情報」を合図に避難を始めても良いでしょう。

テレビで、



「はん濫警戒情報」

とは、避難を始める合図です。

住んでいる市・町・村から、避難についての情報が、広報車や無線、サイレンなどで伝えられます。避難勧告が出なくても、危険を感じたら自分からすすんで避難するようにしましょう。

